

## 令和4年度山形県国民健康保険特別会計の決算概要

### 1 令和4年度決算について

(単位：億円)

区分	歳出	歳入				計
	計	国交付金等	国・県 定率負担金	市町村納付金		
				基礎分	基金 再積立	
医療分	808 (▲8)	436 (▲3)	222 (▲6)	177 (▲8)	—	835 (▲17)
後期高齢者 支援金分	126 (▲3)	65 (▲3)	—	61	—	126 (▲3)
介護 納付金分	44 (▲1)	23 (▲1)	—	21	—	44 (▲1)
計	978 (▲12)	524 (▲7)	222 (▲6)	259 (▲8)	—	1,005 (▲21)

( ) 内は前年度決算額との差

歳入決算 1,005 億円 - 歳出決算 978 億円 = 決算剰余金 27 億円

註：国交付金等：都道府県間の財政不均衡を調整するための交付金等  
 国・県定率負担金：医療費等に対する国・県の定率負担金

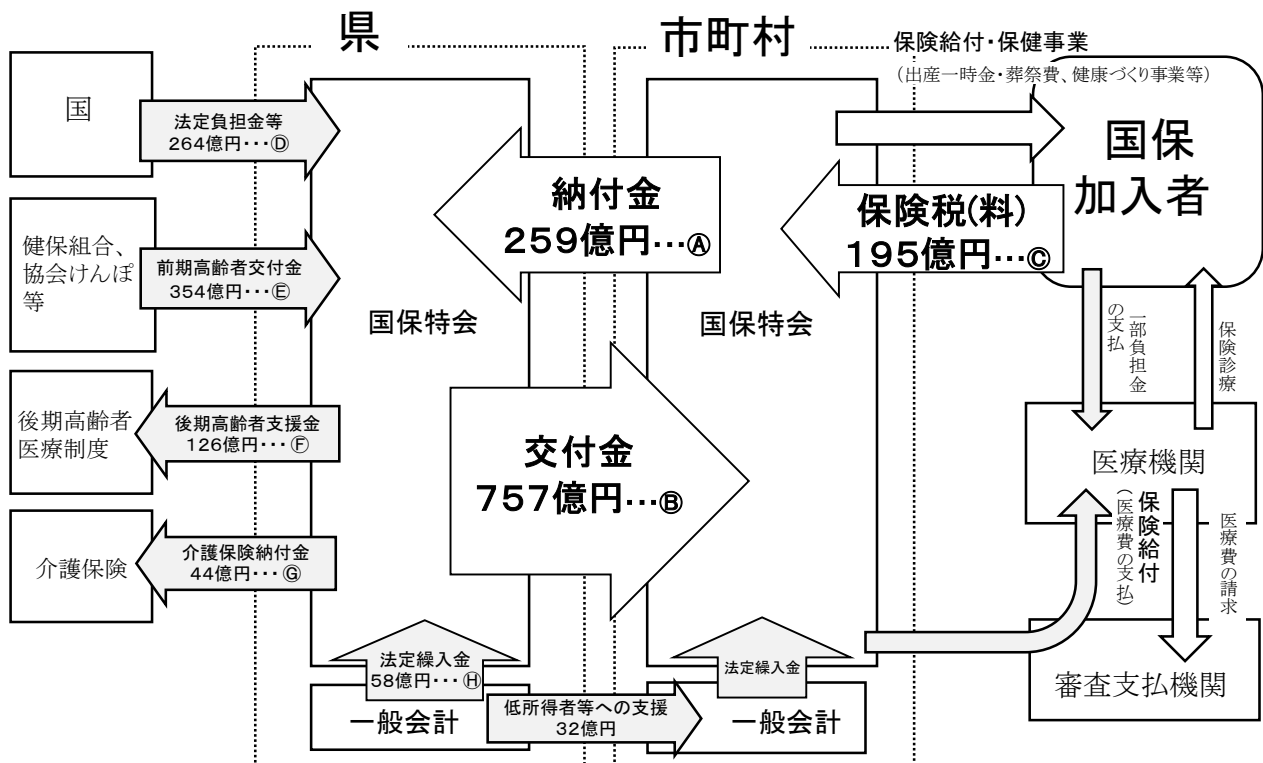
### 【参考】国民健康保険特別会計の収支状況

<03 年度決算>		<04 年度決算>	
支出	収入	支出	収入
医療費等 990 億円	国交付金等 531 億円 【下記以外の 収入】	医療費等 978 億円 (▲12 億円)	国交付金等 524 億円 (▲7 億円)
	国・県 定率負担 228 億円 【国 32%+県 9%】		国・県 定率負担 222 億円 (▲6 億円)
	市町村 納付金 267 億円		市町村 納付金 259 億円 (▲8 億円)
繰越金 36 億円		繰越金 27 億円	

※国交付金等  
⇒都道府県間の財政不均衡を調整するための交付金等  
 国・県定率負担  
⇒医療費等に対する国・県の定率負担金

( ) 内は前年度との差

## 2 令和4年度国民健康保険の財政状況



①納付金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県は、市町村の保険給付総額を見込み、「納付金」総額を算定</li> <li>・各市町村の ①国保加入者数 ②世帯数 ③所得総額 ④医療費水準に応じて、市町村ごとの「納付金」額を算出し、徴収</li> </ul>
②交付金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県は、市町村の保険給付総額を「交付金」として交付</li> </ul>
③保険税(料)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村は、「保険税(料)」を国保加入世帯から、その世帯の国保加入者数と所得額に応じて徴収</li> <li>⇒「納付金」の原資及び独自に実施する保健事業等の経費に充当</li> </ul>

※ 上記図の②、③、④の金額は、実績確定に伴う国や市町村等との返還や追加交付を差し引きした額。

## 3 国民健康保険財政安定化基金の残高について（令和4年度末時点）

（単位：千円）

	令和3年度		令和4年度		
	期首	期中増減	期首	期中増減	期末
基金総額	1,901,525	+38	1,901,563	+1,708,424	3,609,987
(1) 本体分	1,633,136	+38	1,633,174	+38	1,633,212
(2) 特例基金（激変緩和分）	0	±0	0	±0	0
(3) 特例基金（保険者努力分）	268,389	±0	268,389	±0	268,389
(4) 財政調整事業分	0	0	0	+1,708,387	1,708,387

※基金の用途について

- (1) 本体分…市町村の保険料収納不足に対する貸付・交付のほか、県の保険給付費が予想以上に増加し財源不足が生じた場合、取崩を行う。
- (2) 特例基金（激変緩和分）…県単位化後の激変緩和措置のために活用。（令和5年度まで）
- (3) 特例基金（保険者努力分）…保険者努力支援制度に係る事業費の補填に活用。
- (4) 財政調整事業分…納付金の急激な上昇緩和のため、納付金減算に活用。